

第2学年 国語科学習指導案

日 時 令和3年6月30日(水)
対 象 第2学年2組27名
指導者 岡谷 順子

1 単元名

『お気に入りの本をしょうかいしよう』

2 単元の目標

- 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 【知識及び技能】
- これまでに読んだ本の中や、新しく読んだ本の中から、人に紹介したい本を見つけて、お気に入りのポイントについて分かりやすく伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 「ミリーのすてきなぼうし」の作品を読んで思ったことを友だちと交流することを通して、読書の楽しさに気づき、進んで読書に親しもうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ろうとしている。	・「読むこと」において、文章を読んだと感じたことや分かったことを共有している。	・進んで読書に取り組み、学習課題に沿って、お気に入りの本を紹介しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

この本のタイトルは「本はともだち」である。よって、本（読書）に親しみ、進んで読書をする子を育成するための（読むこと）及び（学びに向かう力）に重点を置いた単元と解釈をした。紹介するポイントはある程度指定をして、「紹介カード」の作成に時間をかけすぎないように工夫をしたい。そして、グループ発表を通して「〇〇くんが紹介してくれた△△という本を読みたいなと思いました。なぜかというところ☆が気になったからです。」という交流を大切にしたいと考えている。

これまでの学習では、交流は自分のワークシートを見せながら発表をしていた。その際に、ワークシートがボロボロになってしまったり、挿絵が見にくかったりすることがあった。また、全体交流をする際に一部の児童の作品だけしか見ることができなかった。それらの問題を解決するために、今回は Google Classroom で Google Jamboard を使って交流することを考えた。まず、Google Classroom を使うと、周りを気にせず自分のボードだけに集中することが利点でもある。Google Jamboard の写真機能やメモ機能を使うことでより相手に本の特徴やおすすめの理由が伝わりやすくなる。そして、全体交流では、クラス全体のおすすめの本が一覧で見ることができる。なによりも、タブレットを使うことで子供たちが進んで学習に取り組むことで読書に関心をもつことを期待している。

(2) 児童の実態

4月に行われた学習アンケートでは、「国語が好きですか。」の問いに「好きです。」と答えた児童が90%であった。国語についての関心の高さがうかがえる。朝読書の時間には、進んで本を選び静かに本を楽しんだり、読み聞かせをすると目を輝かせてお話の世界に入ったりしている。週一回の図書時間は、一冊は自由、もう一冊はテーマ（「日本の昔話」「科学の読み物」など）を決めて幅広く読書に親しむようにしている。また、友達同士で、本の交換をしている姿をよく見かける。「これ、すごく可愛いよ。」「主人公がおもしろいよ。」など、自然と子供同士情報交換をしている。

タブレットの活用状況は、生活科の野菜や図工の作品を写真機能で撮ることが多い。またおまかせ教室などを使うこともある。どの児童も進んで取り組んでいる。

5 ICTの活用の手順

(1) GoogleドライブにGoogle Jamboardを貼り付けるまでの操作

- ①Google Chrome
- ②グーグルアプリ
- ③Googleドライブ
- ④新規
- ⑤その他→Google Jamboard
- ⑥「おすすめの本」(題名を入れる。)

(2) Google ClassroomにGoogle Jamboardを課題として出す操作

- ①Google Classroom
- ②〇年〇組
- ③授業
- ④+作成
- ⑤課題
- ⑥タイトル→「おすすめの本」(題名を入れる。)
- ⑦追加→Googleドライブ→共有ドライブ→e18みなみ小学校ワーク→2年→2-2
- ⑧挿入
- ⑨児童にコピーを作成
- ⑩課題を作成

6 単元の指導と評価の計画（ 6時間扱い 本時 6 / 6 ）

次	時	学習活動	○評価規準【観点】★ICTの活用
一	1	<p>学習の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画をもとに、紹介の仕方について見通しをもつ。 ・今までに読んだ本を振り返る。 	<p>○読書に関心をもち、いろいろな本があることを知ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【知・技】</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミリーのすてきなぼうし」の読み聞かせを聞いて感じたことや分かったことを友達と語り合う。 『ミリーのすてきなぼうし』紹介メモ」を作成する。 	<p>○場面の様子や登場人物の行動など、内容のたいを捉えている。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表】</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に作成した「紹介メモ」を「紹介原稿に置き換えて『ミリーのすてきなぼうし』お気に入り発表会」を行う。 	<p>○「ミリーのすてきなぼうし」を読んで感じたことや分かったことを紹介しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態】</p>
二	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書記録カード」を読み直し、これまでに読んだ本の中から紹介したい本を見付ける。 	<p>○自分が紹介したい本について、文章を読んで感じたことや分かったことを書き表している。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表】</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した「紹介カード」を基に、発表会に向けて練習する。 	<p>○進んで、文章にまとめたことを分かりやすく伝えようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態】</p> <p>★Google Jamboard ★Google ドライブ</p>
三	6 本 時	<p>学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表会を通して、自分の発表を振り返ったり、友達の発表を通して読んでみたいと思った本を見つけたりする。 	<p>○いろいろな本があることを知ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【知・技】</p> <p>○学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態】</p> <p>★Google Classroom ★Google Jamboard</p>

7 本時の指導 (6 / 6)

	学習活動	評価【観点】※指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">お気に入りの本をしょうかいする、はっぴょう会をしよう</div> <p>2 Google Jamboard を全員で開く。</p> <p>①Google Classrom ②2年2組 ③お気に入りの本をしょうかいしよう。 ④あなたの課題 ⑤自分の名前 ⑥矢印マーク ⑦Google Jamboard</p>	<p>※手順を掲示する。</p> <p>※全員同時にタブレットを開くので、手順通り操作して、画面が出てこなくても待つように言葉かけをする。</p> <p>※⑦Google Jamboard まで全員開けたか確認する。</p> <p>★Google Jamboard ★Google Classroom</p>
展開 35分	<p>3 タブレットの Google Jamboard で発表会の準備をする。</p> <p>①1枚目 本の表紙の写真を撮る。</p> <p>②2枚目 お気に入りのところをメモ書きする。</p> <p>③3枚目 お気に入りの場面（ワークシート）の写真を撮る。</p> <p>④タブレットを使って一人で練習をする。</p> <p>4 タブレットを使って友だち同士で交流をする。</p> <p>・三人一組になって、一人ずつ（3分）発表をする。</p> <p>5 Google Jamboard の画面を見せながらで全体交流をする。</p> <p>・自分で作った Google Jamboard を課題として提出する。</p> <p>・友達の発表を聞いて、どんな本を読んできたかを発表する。</p>	<p>※写真は1枚だけ撮るよう助言する。</p> <p>※メモ書きが終わったら、まわりに絵を描いて待つよう助言する。</p> <p>※操作がうまくいかない場合は手を挙げるよう言葉かけをする。</p> <p>・学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態】</p> <p>※早く発表が終わったら、絵本を全員で見る。</p> <p>・いろいろな本があることを知ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【知・技】</p> <p>★Google Jamboard</p>
まとめ 5分	<p>6 振り返りをする。</p> <p>・本を紹介し合って思ったことを振り返る。</p>	<p>※誰のどの本が読んでみたいかを発問する。</p>

成果と課題、指導・講評 【R3 2年 研究授業】**1. タブレットを使うことで個別の理解につながったか。**

- 児童一人一人のペースに合わせて活動することができた。
- タブレットの操作を覚えるための個別の指導が必要な児童が出てきた。

2. タブレットを使うことで友達同士の考えを共有することにつながったか。

- 電子黒板に全員の作品を映し出すことができ、簡単に共有することができた。
- 国語科の学習として、主体性がもう少しあるとよかった。
- 課題の自由度を高めると個別最適な学習につながるのでは。
- 絵本の写真を撮り、コメントを書き込ませる方がよかったのでは。
- ねらいに迫れていたか。

3. その他

- 操作の手順の示し方がよかった。
- 操作に慣れていた。
- タブレットの機能を使いこなしていた。日常的な活用の成果が出ていた。
- インターネット環境が整っておらず、全員が一度につなげると不具合が生じた。

指導・講評 NPO みんなのコード 福田 晴一 先生

- ・1か月前に来校したときに比べて、使い方に慣れていた。担任の指導の成果が見られる。今日は、「国語の授業？タブレットの使い方の授業？」、「自分の学年だったらどう使えるか。」と考えながら参観できたと思う。
- ・海外はコンピューターサイエンスがあってタブレットを使う場面がある。情報1が来年度より必修化。（高校）タイピングが必須に。中学は技術の先生がやる。小学校は教科に入れるが、どこに？という点が課題。
- ・今日の授業は書画カメラでも十分だった。しかし、今回チャレンジしたことがよかった。
- ・今日の授業：感想発表では基本話型により心理的安定性が担保されていた。学級の実態によりプラスな自由度があってもよかった。
- ・Google Jamboard のメリット：全体共有・メモ機能・写真機能 アナログのデメリットをサポート
- ・先生の擬態語や「紹介された本は明日以降教室におく」との言葉掛けがよかった。
- ・PDFにしてスライドにしたほうが重くないかもしれない。（オフラインが操作しやすい）
- ・児童は待てないものなので、何かさせてあげたい。
- ・自分で操作した Google Jamboard だったため、ワークシートや書画カメラより集中度を高めた。
- ・国語という観点では課題はあったと思う。